

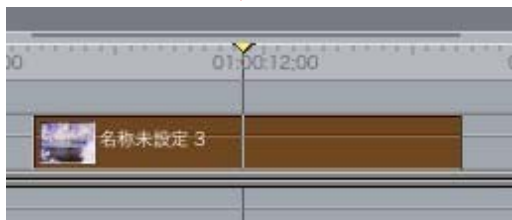
FxScript Trial

SpeedFlex

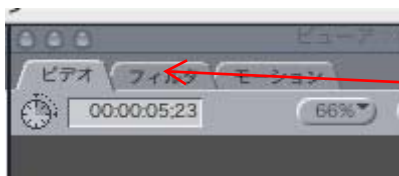
- ・ フィルターの設定
- ・ プラグの機能
- ・ ナビゲーション機能の解説

Filterの設置

まずプラグをライブラリー→Application Support→Final Cut Pro System Support →Plugins に入れる。
そしてFCPを立ち上げる。（プラグは起動したときしか読まない）

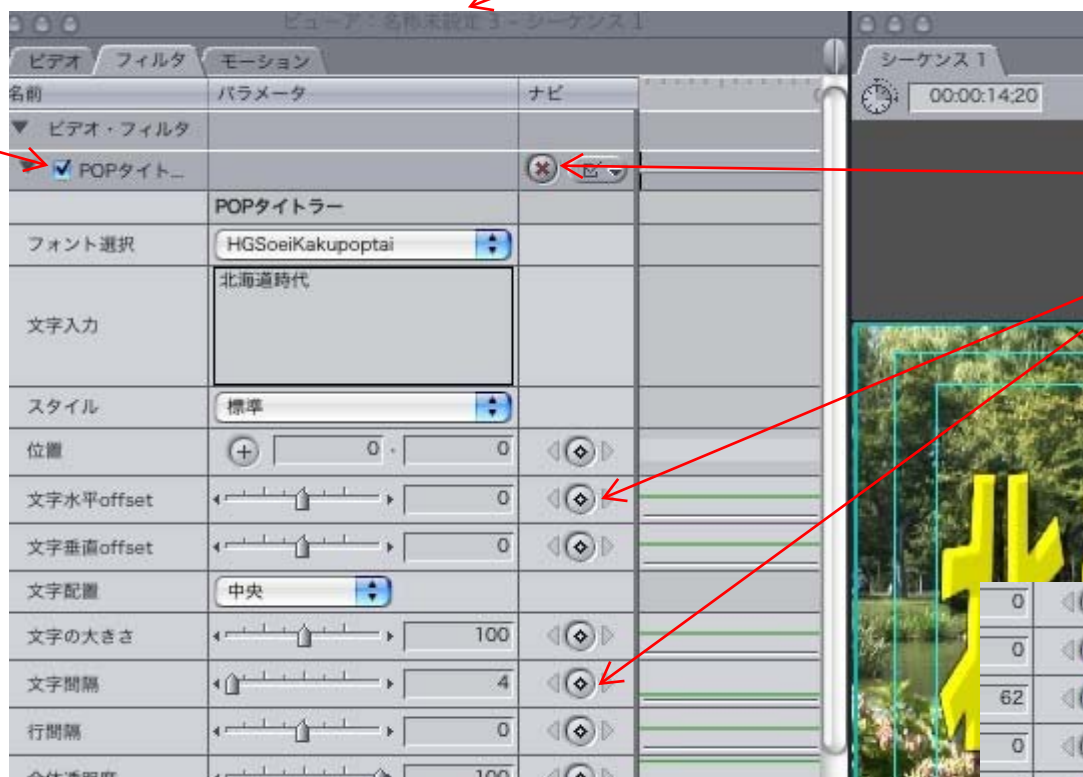


次にシーケンス上の映像をクリックして上方のエフェクト内のフィルターを選びFxScript Trial内の効果を選択する。



フィルターがセットされたのでビューアーのフィルターを押す。

ここを押すと効果がパスされる



ナビゲーション

ここを押すとナビゲーションの設定が全部クリアされる

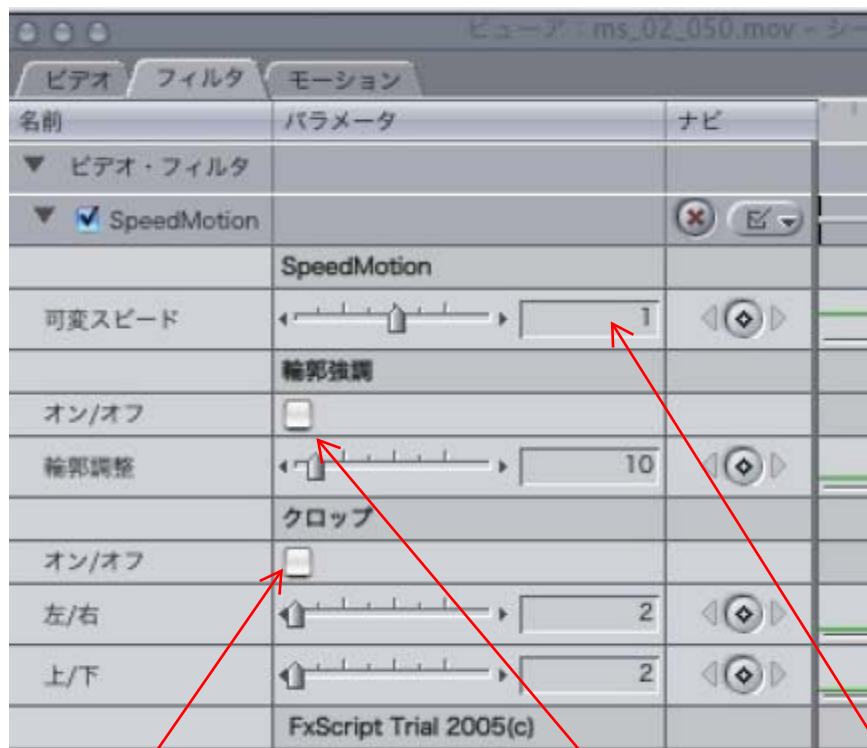
項目ごとに設定

シーケンスの映像の進み具合に応じて数値を変化させる。これでレンダリングをかけると連続的に効果が変化する。



画像に設定されたプラグ

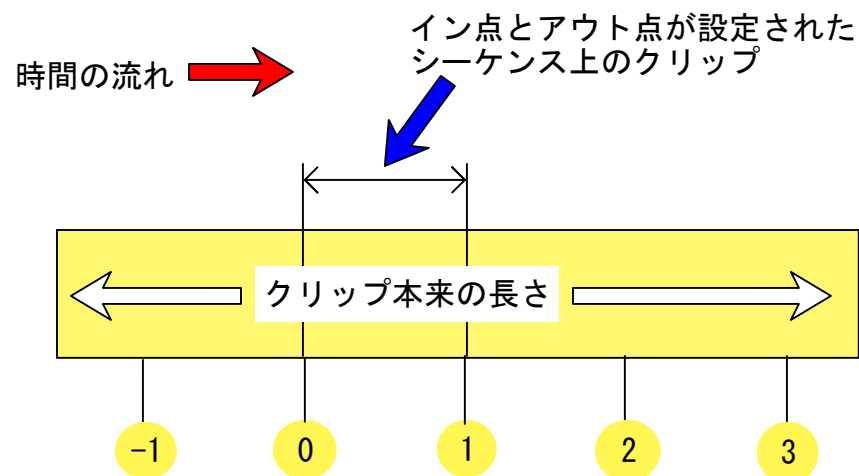
SpeedFlex



クロップも装備

遅いスロー等の動きで絵のネボケ対策に輪郭を装備

SpeedFlexの動作概念



SpeedFlexはイン点、アウト点で設定されたクリップの時間の長さを1としている。

可変スピードを1としたら上記の1を目標に作動するので普通の動きとなんらかわらない

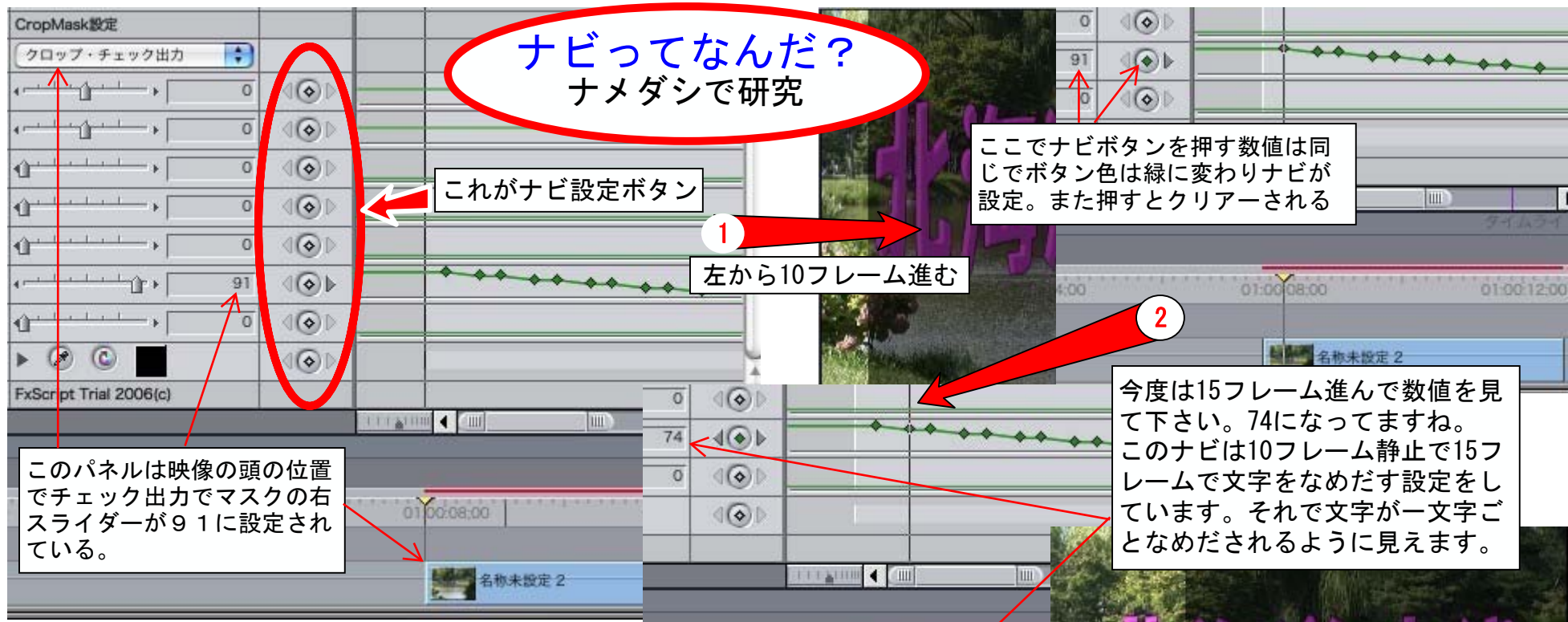
2としたら設定されたクリップの2（2倍）の位置を目標として作動し見た目は2倍の動きとなる

仮に-1を設定したら0を起点としてイン点から前の映像に逆転をしてさかのぼる動きをする。

デモ映像ではナビを使って時間軸上で数値を変動させている。数値を変動させても設定されたシーケンス上のクリップ時間枠の中で映像を閉じ込めようとする働きを常にしているのがお解かりになると思う。

デモ映像とご購入はここをクリック

FxScript Trial



ナビってなんだ？
ナメダシで研究

これがナビ設定ボタン

1
左から10フレーム進む

ここでナビボタンを押す数値は同じでボタン色は緑に変わりナビが設定。また押すとクリアされる

このパネルは映像の頭の位置でチェック出力でマスクの右スライダーが91に設定されている。

2
今度は15フレーム進んで数値を見て下さい。74になってますね。このナビは10フレーム静止で15フレームで文字をなめだす設定をしています。それで文字が一文字ごとなめだされるように見えます。

右のタイミングをそのまま進めて最後の一文字まで行った設定。数値が24.5まで変化しているのがわかります。

3

デモ映像を見る
クリック



ナビゲーションの説明

ナビは最初にボタンを押したら設定モードに入り時間軸を進めるに従い数値を変化させるかナビボタンを押すことで設定されます。設定が終わったらレンダリングをかけるとポイント、ポイントのキーフレーム（ナビで設定した位置）間が自動的に計算され動きが連続して見ることが出来るようになります。

フィルター系のプラグでナビボタンのあるものは全てナビ設定が出来、連続して効果をコントロールすることができます。

